

◆平成27年1月～9月の工事事故の状況◆

☆平成27年1月～9月の工事事故は73件(去年同期73件)発生しています。
また内訳は労働災害が23件(去年同期37件)、公衆災害50件(去年同期36件)で、公衆災害が増加しています。

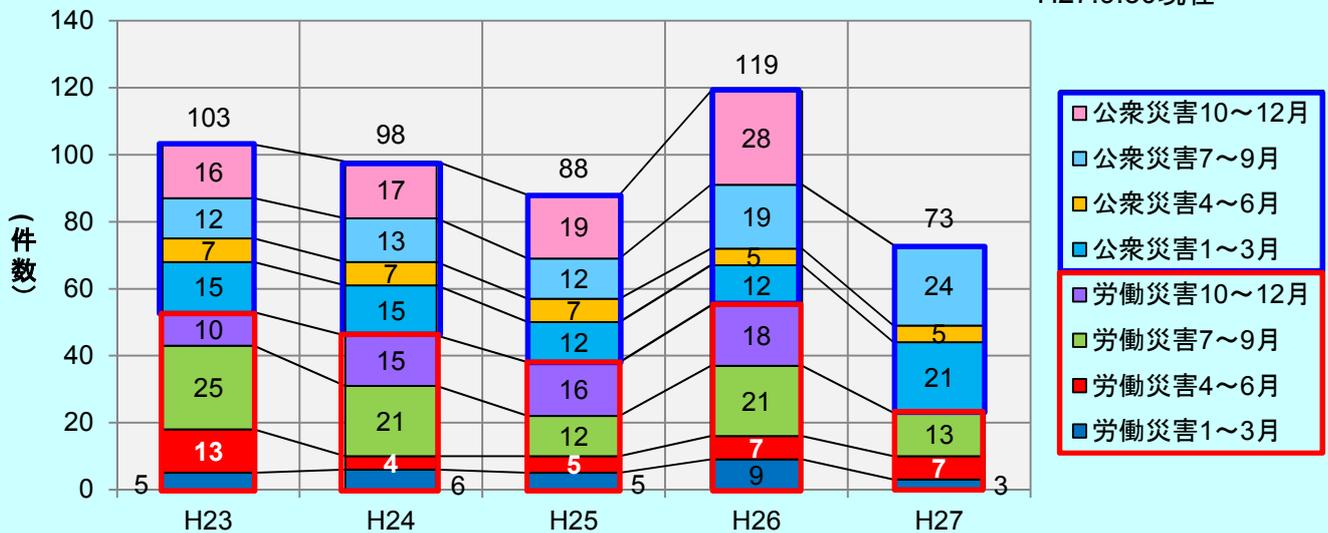
1. 工事事故速報の件数

工事事故件数は昨年と同数となっており、公衆災害が過去5年の約1.5倍発生し、最多となっています。

例年10～12月は、年末、降雪前の追い込みとなり事故も増加する傾向にあるので、年末に向けた安全管理の徹底が必要です。

災害区別事故発生状況

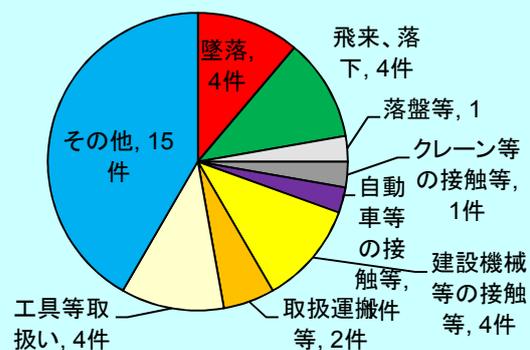
H27.9.30現在



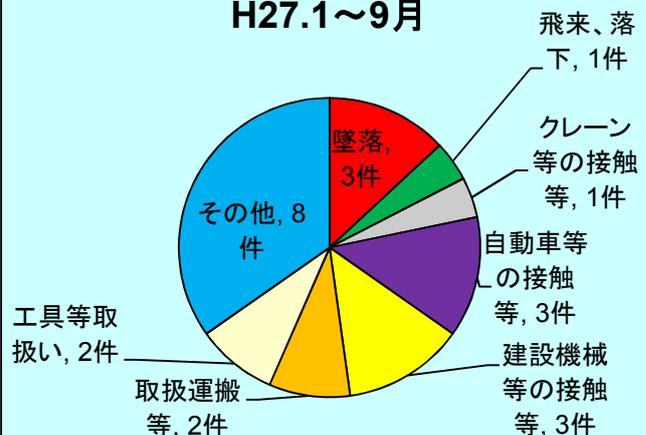
2. 労働災害の発生状況

労働災害は昨年より減少しています。内訳は墜落、自動車等の接触、建設機械等の接触が各3件となっています。

労働災害の内訳(36件) H26.1～9月



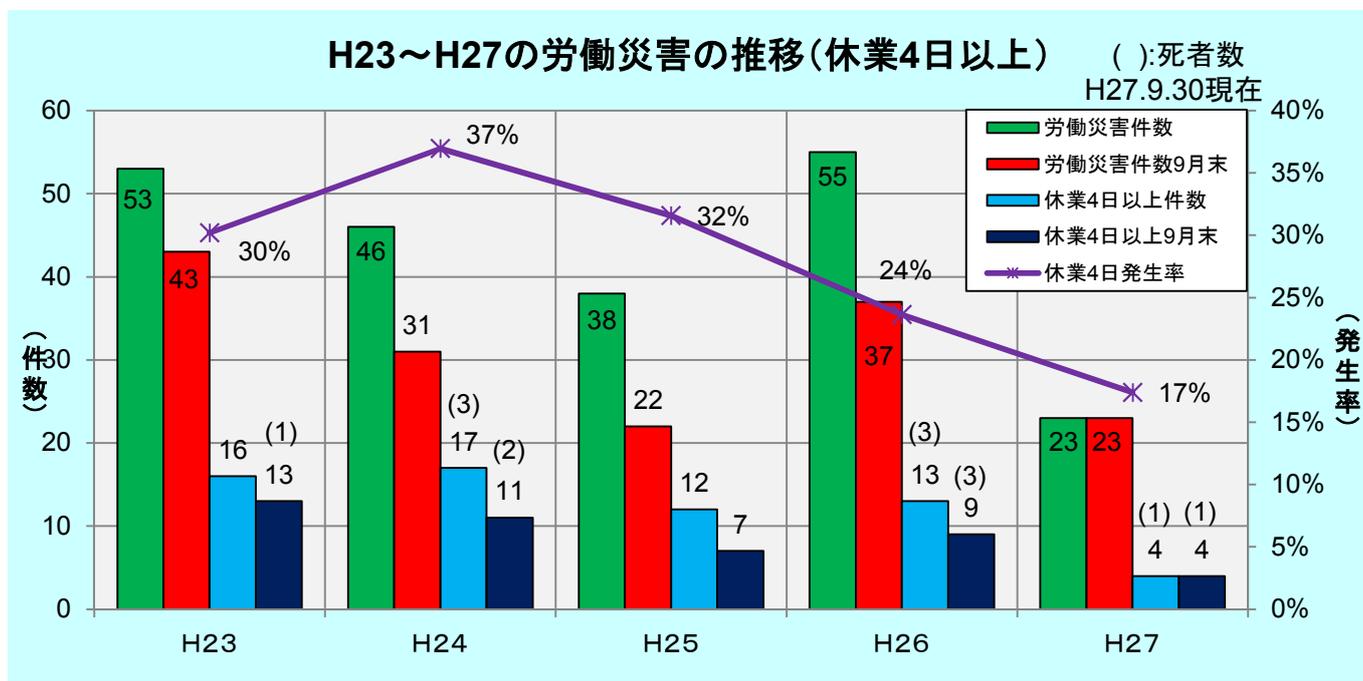
労働災害の内訳(23件) H27.1～9月



※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。
※北陸地方整備局発注の直轄工事

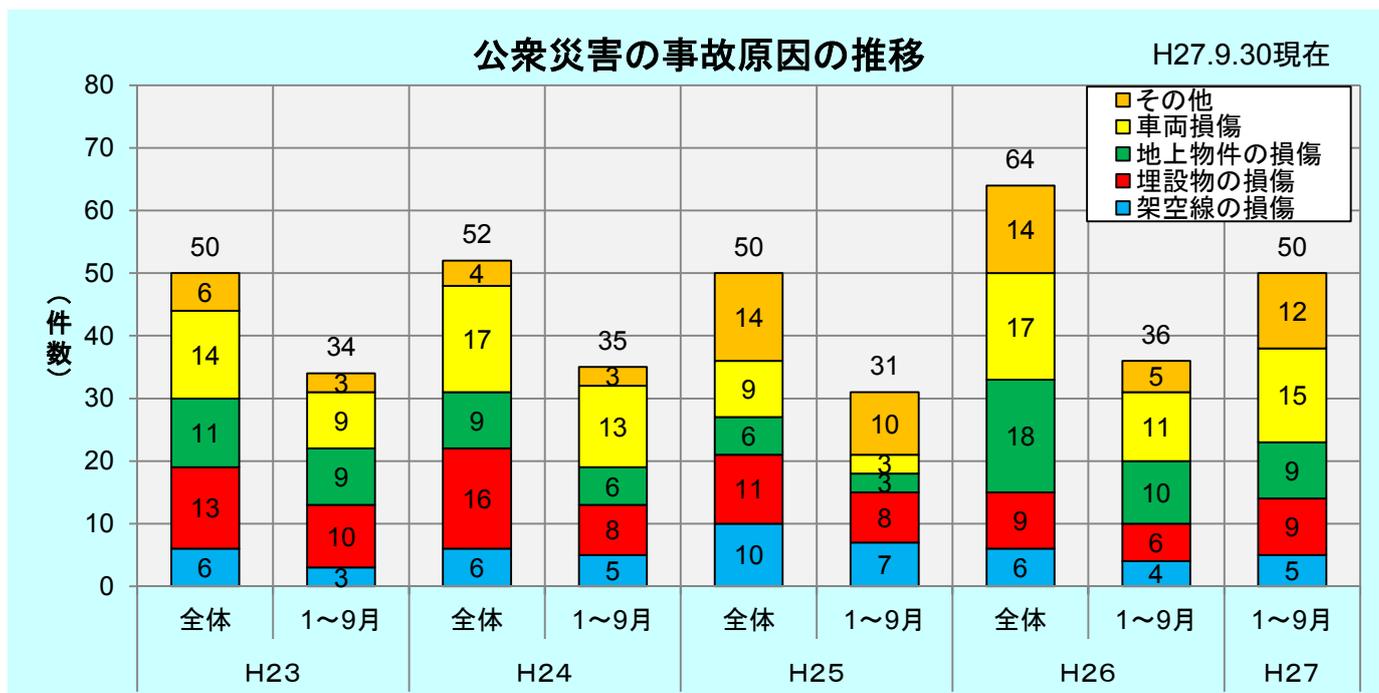
3. 労働災害(休業4日以上)の発生状況

休業4日以上の重大事故の件数は、過去5年で最小となっています。



4. 公衆災害の発生状況

公衆災害は前年同期と比較すると、埋設物、架空線、地上物件の件数が、過年度とほぼ同等であるのに対し、車両損傷が増えています。



※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事

5. 事事故事例

施設屋根の除雪時に高所作業車から転落

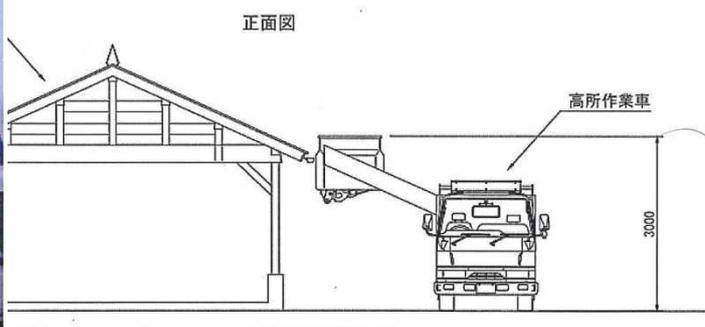
①日時:平成27年1月27日(火)8:45頃

②作業内容:除雪作業

③事故内容:施設屋根の雪下ろしを行うため、高所作業車から屋根に乗り移る際に転落した。

④被害状況:作業員(64才・男性)左大腿骨骨折等(全治3ヶ月)

墜落事故



【事故発生原因】

- ・屋根上にはハシゴで昇降可能だったが、ハシゴを用意していなかった。
- ・バケット全体を屋根上に移動させなかったため、屋根とバケット間に隙間があった。
- ・作業員は、安全带未着用だった。

重機回送車の荷台から転落

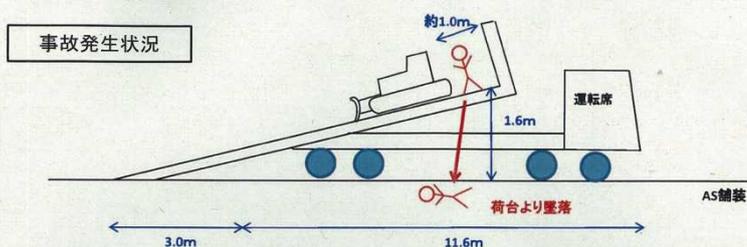
①日時:平成27年7月3日(金)10:00頃

②工事内容:道路拡幅工事

③事故内容:重機回送車に機械積込後、固定作業中に回送車荷台より転落した。

④被害状況:運転手(41才・男性)脳挫傷、外傷性くも膜下出血(全治1ヶ月)

墜落事故



【事故発生原因】(推定)

- ・重機荷台という狭小かつ高所での作業であったが、足下の確認を怠った。
- ・被害者は重機回送の専門家であったが、慣れによる油断があった。
- ・荷台上に枕木等が置いてあり、つまづく原因となった。

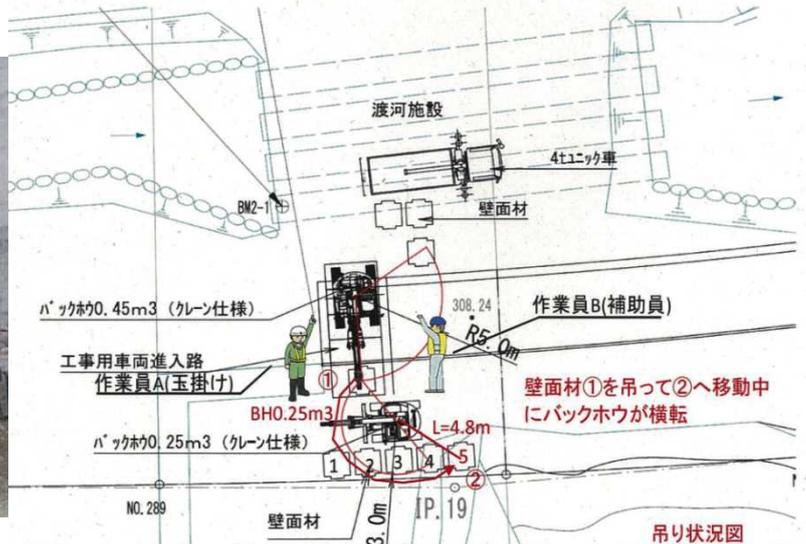
過負荷状態でバックホウを操作して横転

- ①日時:平成27年5月26日(火)8:50頃
- ②工事内容:橋梁下部工事
- ③事故内容:バックホウを過負荷状態で吊り荷作業を行い、旋回中に横転
- ④被害状況:オペレーター擦過傷、バックホウ一部破損

建設機械接触等事故



事故状況写真



【事故発生原因】

- ・バックホウオペレーターが定格荷重を越えた過負荷状態(作業半径4.8mでは1tまで)で作業実施。
- ・移動式クレーンの種類や能力、作業方法等を記載した作業計画書が作成されていなかった。
- ・オペレーターに対し、移動式クレーンの安全教育を実施していなかった。

(参考)北陸地域の3ヶ月予報(H27.10.23新潟地方気象台)

<予想される向こう3か月の天候>

この期間の平均気温は、高い確率50%です。

11月 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。気温は、
平年並または高い確率ともに40%です。

12月 平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。
気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

1月 平年に比べ雪または雨の日が少ないでしょう。気温は、
平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。



安全優良工事事例集を作成しました

今年度表彰を受けた20件の事例を北陸地方整備局ホームページ
(<http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/ankenkanri.html>)に掲載しました。
安全管理の参考にして下さい。

【問い合わせ先】 北陸地方整備局 企画部 技術検査官 金川

TEL 025-370-6702 FAX 025-280-8861

建設工事事故データベース(SAS)の登録を忘れずに

- ・建設工事事故データベース(SAS)への登録をお願いいたします。
- ・建設工事事故データベース(SAS)は、地方整備局・都道府県・政令指定都市・機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事故対策検討委員会や発注者において、工事事故防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。
- ・**休業4日以上**の**建設工事事故**について、受注者・発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)してください。

ホームページ: <https://sas.hrr.mlit.go.jp/>

登録に関する詳細については、ホームページ内の「SASのガイドライン」を参照して下さい。

- ・登録する対象工事

※ 工事区域: 工事作業現場内及び隣接区域

事故の分類	事故の定義
労働災害	工事区域において工事関係作業が起因して、工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 資機材・工事製品輸送作業が起因して工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上の負傷をいう。
もらい事故	工事区域において当該関係者以外の第三者が起因して工事関係者が死亡又は負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上の負傷をいう。
負傷公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して当該工事関係者以外の第三者が死傷した事故。 なお、ここでいう第三者の負傷とは休業4日以上もしくはそれに相当する負傷をいう。
物損公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故にあつて、第三者の死傷に繋がる可能性の高かった事故。

- ・登録が必要な書類

登録書類	記入者	内容
事故発生状況調書	発注者	①事故を登録する調書。事故発生後速やかに発注者が登録し、事故番号とパスワードを取得する。 ②事故発生から2週間を目処に事故の主要項目を記載する。
発注者事故報告書	発注者 (主任監督員)	①事故発生日の2ヶ月以内に、事故の詳細を記入する。
受注者事故報告書	受注者	①発注者より事故番号、パスワードの連絡を受けた後、事故の詳細を記入する。記入完了後は発注者にデータを送信する。

※「事故発生状況調書」は、技術管理課検査係で登録し、受注者への事故番号、パスワードを主任監督員へ通知します。